

日野川河川事務所の取り組み

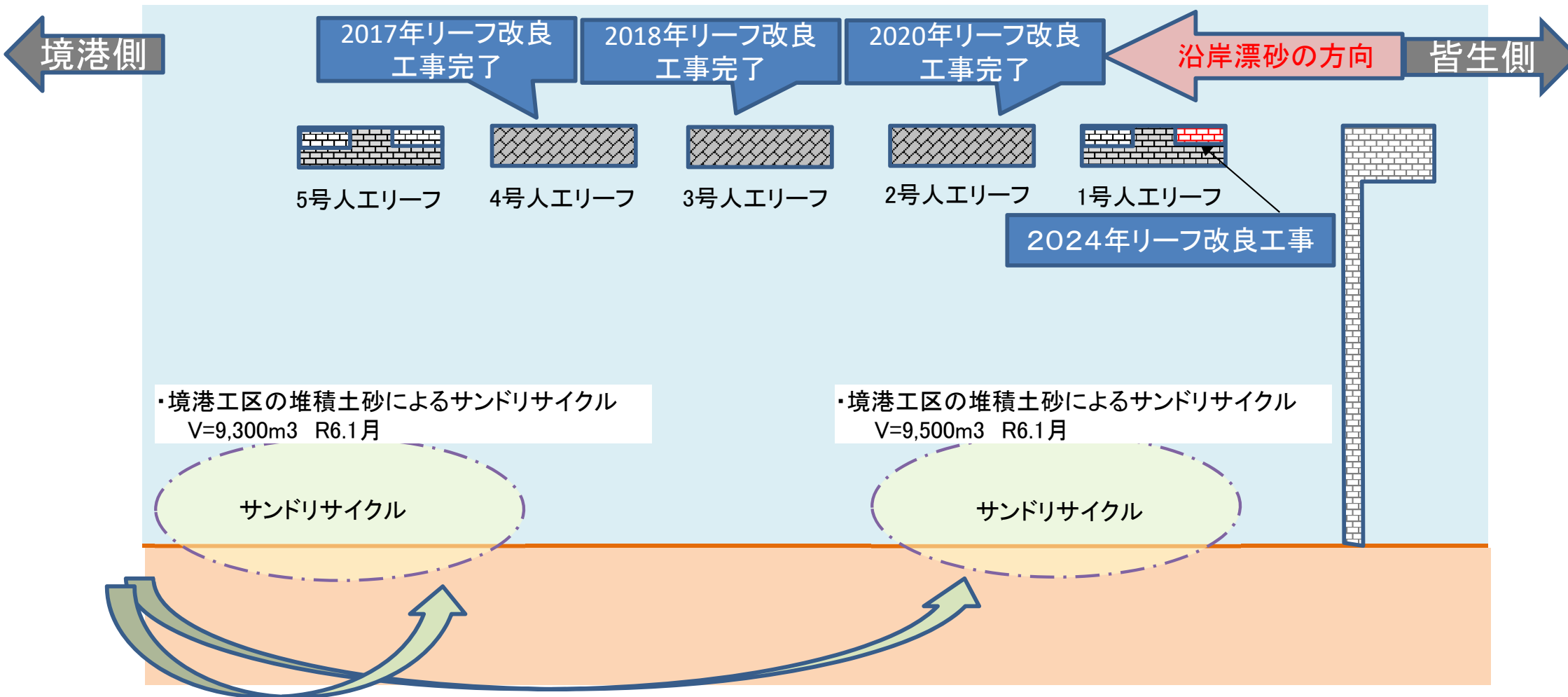
1. 富益工区の整備・サンドリサイクル状況p2
2. 富益工区及び周辺海域の地形変化p4
3. 土砂管理対策及びモニタリング実施状況p6

令和6年12月18日
日野川河川事務所

富益工区の整備・サンドリサイクル状況

(1) 富益工区の整備・サンドリサイクル状況

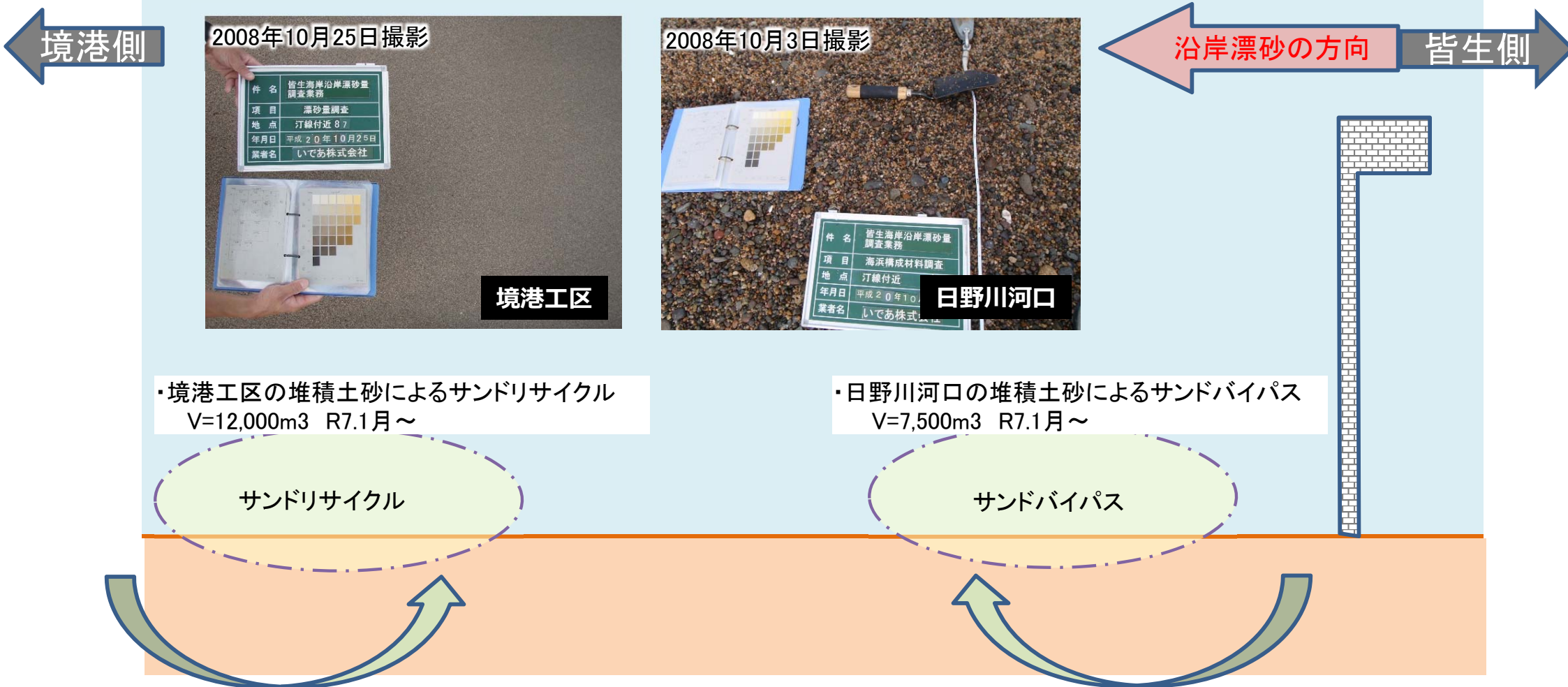
- 2017年に上手側(皆生側)から4基目的人工リーフから改良に着手し、2020年に3基的人工リーフ改良を完了した。2021年に5号人工リーフ改良を一部実施している。
- 2023年からは上手側(皆生側)の1号人工リーフ改良を実施
- サンドリサイクルについては、砂浜の状況を踏まえて投入場所を決定する。



富益工区のサンドリサイクル予定

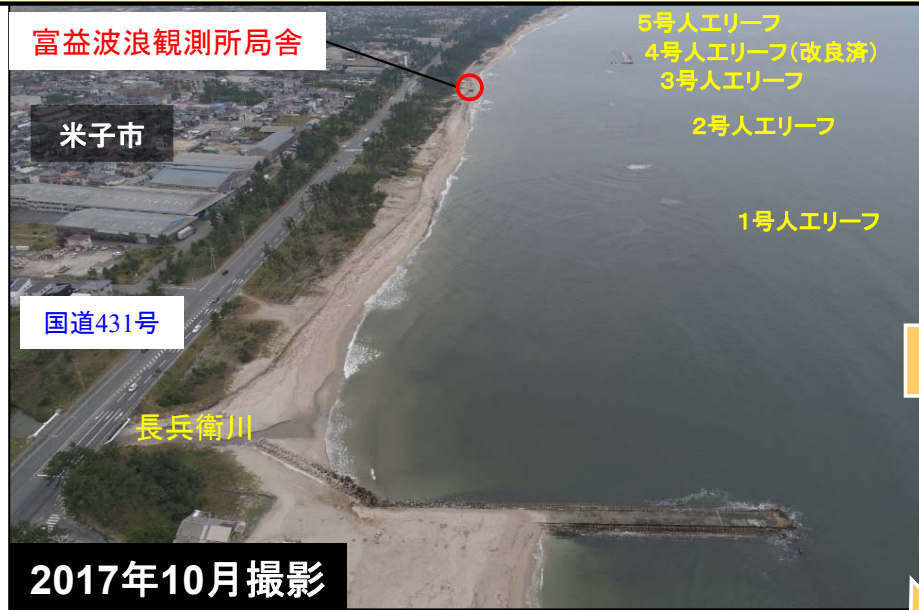
(1) 富益工区のサンドリサイクル予定

- 境港工区の堆積土砂によるサンドリサイクルと、日野川河口に堆積している砂州を利用したサンドバイパスを実施。
- 境港工区堆積土砂に比べ、日野川河口砂州は粒径が大きいいため、養浜効果が高まることを期待。
- サンドリサイクル・バイパスについては、砂浜の状況を踏まえて投入場所を決定する。



富益工区の地形変化実態【空中写真】

- 2017年（H29）に4号、2018年（H30）に3号、2020年（R2）に2号人工リーフ改良を実施。2021年（R3）より5号、2023年（R5）より1号を一部改良している。
- 4号人工リーフ改良直後（2017年（H29））と現在（2023年（R5））の空中写真を比べて、改良済人工リーフ背後では、トンボ口地形が形成され、汀線が前進していることが確認できる一方、改良中の1号人工リーフ周辺では、汀線が後退している。



台風14号の皆生工区 侵食状況

2022年(令和4年)9月19~20日にかけて、台風14号が襲来し、皆生工区の汀線が大きく後退するとともに、浜崖が広域に形成された。2022年(令和4年)10月に日野川河口の砂を運搬し、緊急養浜を実施。

台風14号襲来後の状況



砂浜流出箇所①



台風14号襲来後の地形変化状況
2022年9月21日撮影

越波発生



台風14号襲来時の波浪状況
2022年9月20日撮影



土砂管理対策及びモニタリング実施状況(砂防域)

<<一の沢砂防堰堤の土砂供給対策(掘削+置土)の試験施工の実施状況>>

■一の沢砂防堰堤に堆積した土砂の中から大きな石を除去して、置土を実施



伐採後・掘削前



伐採後・掘削前



除去した石礫



スリット内礫樹木等除去



大粒径のふるい分け状況



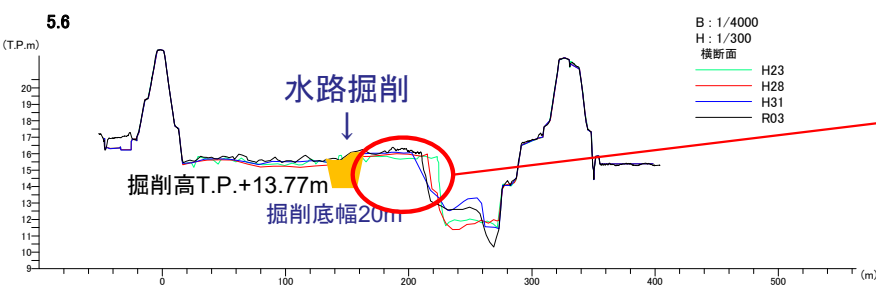
掘削+置き土の工事後(2023(令和5年).6)



土砂管理対策及びモニタリング実施状況(河道域)

<<日野川5.8k付近における土砂供給方策>>

- 発達した砂州の一部を水路掘削することで、新たな滞筋となり両岸の側岸浸食により砂州の流出を期待。
- 2014年度(平成26年度)実施箇所においては、洪水により水路掘削箇所周辺(黄色線)の砂州が流出



5.6k横断面図(対策案)



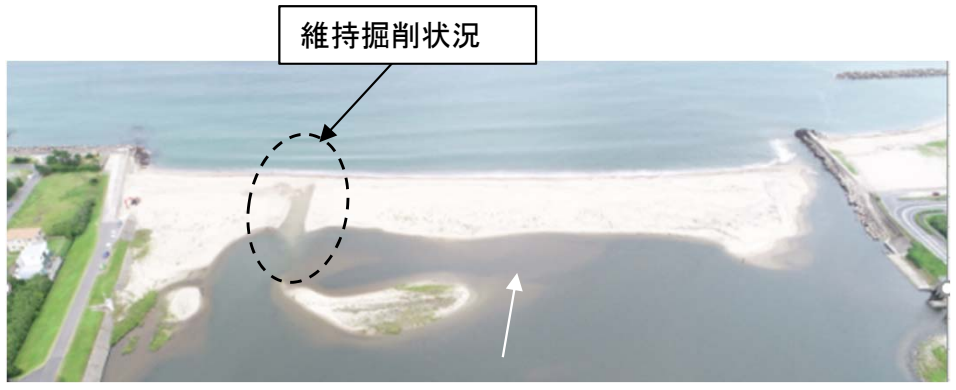
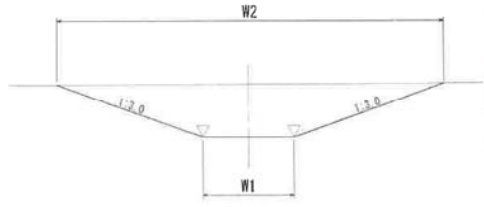
土砂管理対策及びモニタリング実施状況(河口域)

<<河口域における土砂供給方策>>

- 河口砂州の一部を掘削し、洪水による砂州の流出を期待
- 毎年、出水期前に維持掘削を実施している。

■河口砂州の維持掘削 ：毎年出水期前に実施

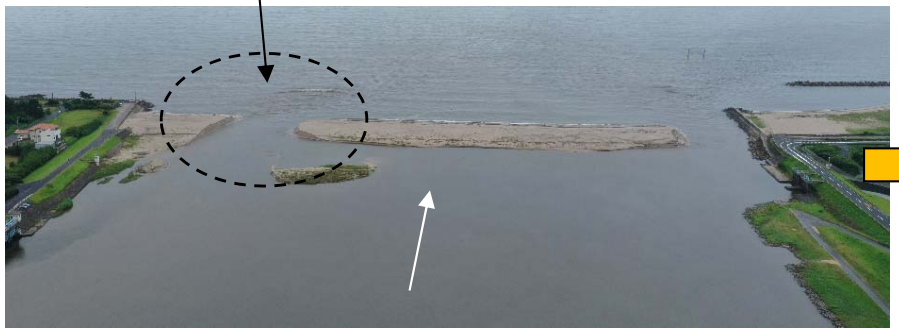
- ・掘削基面幅： 3m
- ・掘削基面高： 掘削時の実水面高
- ・床掘勾配： 1：3



R3.7.6撮影

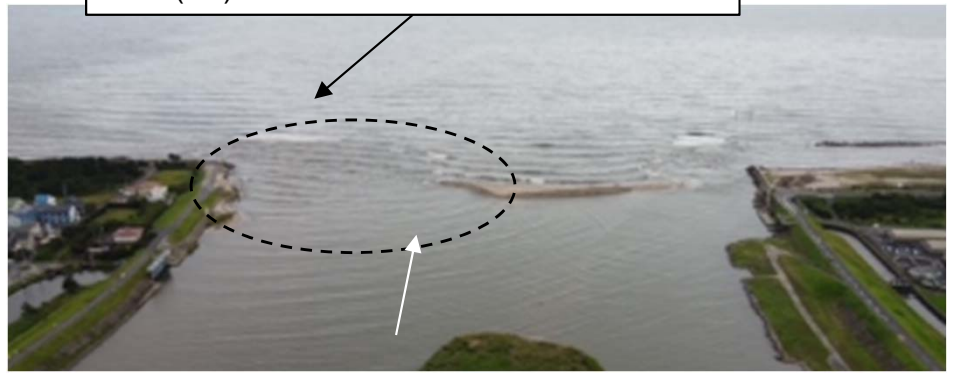
■2021.7月～8月洪水による河口砂州のフラッシュ状況

2021(R3).7.7洪水で河口砂州の一部が流出



2021(R3).7.8撮影

2021(R3).8.15洪水で河口砂州が流出した



2021(R3).8.18撮影